

大関ヶ原祭 2023 オープニング

野外朗読音楽絵巻

せきがはら

関ヶ原の記憶

きおく

慶長五年九月十五日



田島 聖子
声楽家



角田 和弘
声楽家



城 宏憲
声楽家



関口 まなと
俳優



竹下 景子
俳優

◆主な出演

令和5年 9月9日(土)

開演/19:00~19:50 (開場/18:00)

小雨決行・雨天中止

会場/笹尾山駐車場 特設ステージ

入場料/全指定席
(S席2,000円(土産付き)、A席1,000円)
7月12日(水)販売開始

主催/岐阜県・関ヶ原町

関ヶ原の記憶

慶長五年九月十五日

配役

語り手 俳優 竹下景子

武将 俳優 関口まなと

石田三成 声楽家 城宏憲

徳川家康 声楽家 角田和弘

淀殿 声楽家 田島聖子

演奏

ヴァイオリン ビルマン 良弓光

チェロ 印田陽介

クラリネット 大成雅志

ピアノ 粥川愛

「音楽監督／中山博之」

※編成および演奏者は変更になる場合があります。
※写真撮影・動画撮影・録音・録画は禁止とさせていただきます。

概要

慶長五年九月十五日、未明
雨にぬかるむ山あいの闇を、具足を響かせながら無数の足音が
西へと移動していた
向かう先は、関ヶ原

今宵の「野外朗読音楽絵巻」、物語の縦糸は、語り手である
俳優竹下景子さんが担う十時間あまりのドキュメントで運命
の一日を紐解く。関ヶ原の記憶である。

この語りに対応しながら、俳優関口まなとさんが鍵となる武
将たちの心情を演じる。

そして、テノール歌手の城宏憲さん、バリトン歌手の角田和弘
さんが、西軍「石田三成」、東軍「徳川家康」の心情を詠唱によ
り描く。さらに、メゾソプラノ歌手の田島聖子さんが、この日
遥か大坂城にいた「淀殿」の心情を重ねる。

夜通し降り続いた雨の影響でしょう、関ヶ原はまったく視界の
きかない、白く深い霧に沈んでいます。

待ち受ける運命は深い霧の向こうにあり、まだ誰にも見えてい
ません。

ある者は、義のために

ある者は、利のために

ある者は、命を賭して戦場を駆け回り

ある者は、息を潜めて戦況を見つめ

十五万有余のものたちが歴史の分水嶺でせめぎあう

彼らがここで見たものは、ものふとしての希望か、
はたまた、人としての地獄か

四百二十三年の時を経て、関ヶ原の歴史的価値を見つめる
一夜限りのページェント。

ものふたちに捧ぐ、鎮魂の花火とともにお届けします。



ACCESS

- JR東海道本線関ヶ原駅下車
菅尾山会場まで徒歩20分
- 交通規制区間 8:00~21:30
- 一般駐車場
- シャトルバス
東首塚~記念館~菅尾山グラウンド
15:30~21:00
※19:00以降は記念館には止まりません。

混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。

入場券販売

● チケットぴあ
Pコード/520519
TEL.0570-02-9111
<https://t.pia.jp/>

● 岐阜関ヶ原古戦場記念館
広域観光情報コーナー
(9:30~17:00)
TEL.0584-41-0915

◆ お問い合わせ
大関ヶ原祭2023事務局
TEL.0584-71-6132
<https://daisekigaharasai.jp>

